

農家組合員の皆様へ

飼料用米に作付転換して 米価安定に取り組みましょう!!

これからの水田農業に向けて、今が大切な時です!

平成27年産の飼料用米は、全国的に取り組みが拡大され、米の需給改善と価格回復に一定の効果がありました。しかし、消費が減少し続ける中で、民間在庫数量の適正化による米価安定のためには、飼料用米の継続した取組みと拡大が必要です。

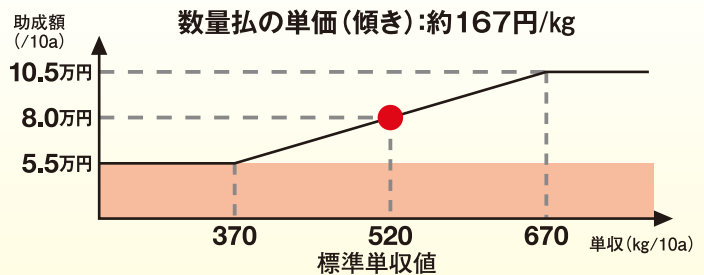
飼料用米に取り組むメリット

- ①所得確保と経営安定が実現! →作付段階で収入が見通せるため、**経営安定**につながります。(収入試算は別掲)
- ②主食用米の需給改善! →飼料用米の取組みを通じて、**主食用米の需給に応じた生産**を実現できます。
- ③水田をフル活用! →**多面的機能の発揮、耕作放棄地の解消、食料自給率の向上**といった効果も生まれます。

飼料用米への政策支援

- 数量払の導入で**最大10.5万円/10a**
標準単収でも **8万円/10a**
- 二毛作助成 **1万5千円/10a**
- 耕畜連携助成 **1万3千円/10a**
- 産地交付金(多収品種) **1万2千円/10a**

- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることが条件。
- 標準単収値は、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)



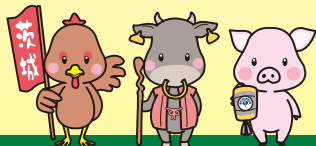
【参考】平成28年産の10aあたりの飼料用米の収量別収入イメージ(試算)

品 種	収 量	販売金額	水田活用の 直接支払交付金	産地交付金 (国)	収入合計
主食品種	520kg	5,200円	80,000円	—	85,200円
	600kg	6,000円	93,360円	—	99,360円
専用品種	520kg	5,200円	80,000円	12,000円	97,200円
	670kg	6,700円	105,000円	12,000円	123,700円

※上記比較表では、市町村標準単収(配分単収)を520kg/10a、飼料用米販売金額を10円/kgとして試算しています。
※水田活用の直接支払交付金は区分管理方式で試算しています。(平成28年産からは作柄調整も導入されます)
※産地交付金(県・市町村)及び市町村単独助成は考慮していません。

飼料用米の販売については、JA等へお任せ下さい!!

全農による飼料用米の買取実施、需要に応じた地域販売先との取組みなど、飼料用米の安定した販売先を確保しています。飼料用米の取組みは、米の需給改善につながり、農家組合員の所得安定にもつながるんだね。



茨城県農業再生協議会・JAグループ茨城

多収性専用品種は、 主食用米への混入防止対策が重要です。

- 主食用品種の収穫完了後に、多収性専用品種が収穫時期を迎えるような営農計画を作成しましょう。
- 機械・施設内に残った多収性専用品種は翌年の品種混入につながるためコンバイン・乾燥機等の清掃を徹底しましょう。
- 収穫時に圃場に落下したモミが次年度に発芽し、次期作に影響を与える場合があるため、多収性専用品種を作付する場合は圃場を固定して継続作付を行いましょう。
- 異品種混入を心配される方は、主食用品種での作付をお勧めします。
- 適正な管理で、増産に努めましょう。

飼料用米の生産は、 単収の向上や低コスト化などの 取組みを行うことが重要です。

【多収性専用品種特性表 (知事特認品種を含む)】

品種名	早晚性	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	耐倒 伏性	耐病性		脱粒性	除草剤 感受性	特 性
									縞葉枯病	葉いもち			
夢あおば	早 生	5.26	8.6	9.21	80	72.1	25.3	○～△	抵抗性	抵抗性	やや難	抵抗性	障害型冷害にやや弱い。
ホシアオバ	中 生		8.12	10.7	93	76.6	31.5	○	抵抗性	抵抗性	やや難	抵抗性	出穂ややばらつく。成熟期に葉先枯れあり。穂発芽性やや易。
あきだわら	中生の晩	—	8.14	10.4	88	73.9	20.8	○～△	弱	弱	—	—	多収で米の外観品質、食味も良い。いもち病、縞葉枯病に弱い。

試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)平成20年成績による。〔あきだわら〕以外
〔あきだわら〕は作物研究所(つくば市)の試験成績(平成16～20年)による。〔あきだわら〕は多肥栽培。

【主食用品種特性表】

品種名	早晚性	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	耐倒 伏性	耐病性		脱粒性	特 性
									縞葉枯病	葉いもち		
コシヒカリ	中 生	5.12	8.4	9.14	87	60.0	23.6	×	弱	弱	難	倒伏しやすい。いもち病に弱い。
チヨニシキ	早生の晩	5.26	8.6	9.20	84	67.0	23.5	△	弱	強	難	主食用としては強稈であるが、極多肥栽培による倒伏に注意する。
ゆめひたち	中 生		8.11	9.24	81	69.1	22.1	○	—	やや弱	難	強稈。いもち病にやや弱い。

試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)平成20年成績による。
〔コシヒカリ〕は一般栽培、〔チヨニシキ〕および〔ゆめひたち〕は多肥栽培。

※多収性専用品種の一部(モミロマン・ミズホチカラ・タカナリ等)は、トリケトン系成分(ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン)を含む除草剤を使うと、場合によっては枯れてしまうほどの影響があります。

種子の購入は、お近くのJA窓口までお申込み下さい。